

## 日本語 - カザフ語辞書作成の試みとその評価

齋藤 篤

早稲田大学大学院人間科学研究科

アマンタイ ジャナル

アルファラビー・カザフ国立大学東洋学部韓国語日本語学科

バグダウレット アキン

アルファラビー・カザフ国立大学東洋学部韓国語日本語学科

カディコバ サマル

アルファラビー・カザフ国立大学東洋学部韓国語日本語学科

橋本 敦

早稲田大学人間科学部

岩垣 穂大

早稲田大学大学院人間科学研究科

扇原 淳

早稲田大学人間科学学術院

キーワード：日本語教育 辞書 日本語 カザフ語

### 1. 研究背景

中央アジア地域に存在するカザフスタン共和国は、1991年に独立した比較的若い国である。同国は中央アジア地域における最大の経済大国であるとともに、日本にとって文化的・政治的・経済的に重要なパートナーであり、今後多様な分野において連携を強めていくことが必要とされている。カザフスタンと日本が今後も良好な政治的・経済的パートナーとして協力し合っていくためには、両国相互の言語に習熟した人材を育成することが不可欠であると言える。

カザフスタン共和国は、1685万人（2012年現在）の人口の内、カザフ人が63.1%、ロシア人が23.7%、ウズベク人が2.9%、ウクライナ人が2.1%、ウイグル人が1.4%、タタール人が1.3%、ドイツ人が1.1%と、130以上の民族が共存する多民族国家であると同時に、多言語国家でもある。言語に関しては、カザフ語が国語、ロシア語が公用語として定められており、同国において、現在カザフ語を使用することができる人口は全人口の64.4%であり、ロシア語は95%の国民が使用している。

表1によると、同国人口におけるカザフ人の割合は、1999年に53.4%であったのが2009年には63.1%にまで上昇しているのに対し、1999年には30%であったロシア人の割合は2009年には23.7%まで減少している。また、初等中等教育段階で多言語教育体制が採られており、教授言語として、カザフ語、ロシア語、ウズベク語、ウイグル語、タジク語、トルコ語、ドイツ語、タタール語、英語が用いられている。これらの教育課程ではそれぞれの言語、文学の履修を義務づけられている他に、カザフ語、ロシア語の学習、またカザフ文学、カザフスタンの歴史の学習が必修科目として定められており、こうした科目については様々な意味で強化される傾向にある。ここからもカザフ語の重要性が今後高まっていくことが容易に想像できる。

表 1. カザフスタン共和国の民族構成 (%)

年	1989	1999	2009
民族			
カザフ人	40.1	53.4	63.1
ロシア人	37.4	30.0	23.7

出典：嶺井明子，川野辺敏（2012）『中央アジアの教育とグローバリズム』 p.32 を参考に作成

しかしながら，現在カザフスタンと日本双方の言語学習のための教材は少なく，とりわけ日本語 - カザフ語辞書はほとんど存在していない。これを受けて，本研究では，日本語学習者，またカザフ語学習者が相互の言語を学習しやすい環境を創出することを目指し，その一環として日本語 - カザフ語辞書を作成することを目的とした。またこの活動を一過性のものとして終わらせることなく，この辞書を継続して改訂し続ける仕組みを作り上げることを目指している。

## 2. 対象・方法

この辞書の作成にあたり，アルファラビー・カザフ国立大学東洋学部韓国語日本語学科と早稲田大学人間科学学術院・大学院人間科学研究科の研究者・大学院生で構成される辞書作成実行委員会を立ち上げた。ここでは，包括的な日本語 - カザフ語辞書作成の第一段階として，政治・経済用語を収録した辞書の作成作業を行った。

辞書作成作業では，まず日本語の政治・経済用語のリストアップ作業を行った。ここでは早稲田大学の日本人学生 3 名により，2011 年，2012 年に発行された，「日経キーワード重要 500」，「朝日キーワード 2013」といった，政治・経済に関する書籍や，2012 年にインターネットに掲載された記事から，重要と思われる用語をリストアップした。ここでは 1015 語を抽出した。

次に，抽出された用語について，カザフ語への翻訳作業を行った。翻訳作業はアルファラビー・カザフ国立大学東洋学部韓国語日本語学科の研究者が担当した。ここでは日本側がリストアップした単語を e メールでカザフ側に送り，カザフ側がそれを翻訳し，翻訳困難な用語があった場合は，日本側がその用語の意味を詳しくカザフ側に説明する，といった形式で，翻訳作業を実施した。なお，翻訳の正確性を担保するため，1 語につき 2 人以上で翻訳語の妥当性をチェックした。また，翻訳作業にあたっては，コンサイス和露辞典，Электронный словарь АBBYY Lingvo (ロシア語 - カザフ語電子辞書)，Толковый словарь русского языка, Weblio 類語辞典を用いた。

政治・経済辞書の翻訳作業が完了した後，作成した辞書の使用感について調査を行った。この調査では，アルファラビー・カザフ国立大学東洋学部韓国語日本語学科に在籍する，日本語を専攻する大学生・大学院生を対象とした。調査では対象の学生に作成した辞書を使用してもらいながら，第 3 者が選定した日本経済新聞と読売新聞の記事（合計 3,257 文字）を読んでもらい，アンケート調査を行った。アンケート項目は①辞書使用回数，②調べた用語のうち辞書に掲載されていた用語，③調べたが辞書に掲載されていなかった用語，④辞書についての意見としました。なお，調べたが辞書に掲載されていなかった用語など，アンケート内容に正確な記憶力が求められる項目があるため，事前にアンケート内容を頭に入れてから辞書を使用してもらうことを狙い，アンケートは辞書と同時に配布し，アンケート項目を意識しながら辞書を使用してもらった。

アンケートの結果、5名から有効なアンケートが得られた。本辞書を使用した回数は5名合計で288回であり、一番使用頻度が高かった学生は93回、一番使用頻度の低かった学生は3回であった。辞書を使用し掲載されていた用語数は5名合計で141語、辞書を使用したが発載されていなかった用語数は147語であり、このうち重複した用語を除くと83語が実際に掲載されていなかった。掲載されていなかった用語に関して用語別に見ると、「指標」「方針」と回答した学生が4名で最も多く、次に多かったのが「再生」「シェールガス」「主義」「正副」で3名の学生が回答した。また掲載されていなかった用語を字数別に見ると、2文字が70語と最も多く、次に多かったのが3文字で5語となった。

表2. アンケート結果

	辞書検索回数	掲載語数	辞書に掲載されていなかった用語
学生1	3	1 (規制緩和)	2 (慎重論, 正副)
学生2	32	18 (損害保険, LNG, 代表権, 価格, SNS, 懸念, 地震, 総裁, 公務員, 購入, 生産規模, 調達, 輸送, 加工する, 補償, 組織, 参議院, 金融)	14 (アナダルコ, 推移, 指標, 地社, シェールガス, モザンビーク, ヘンリーハブ, 方針, 委託, 急増, 想定, 抑制, 激励, 臨時)
学生3	73	33 (※データなし)	38 (割安, 方式, 需要, 抑制, 貿易, 圧力, 推移, 増産, 需給, 平均, 代替, 指標, 低迷, 代表的, 水準, 確保, 輸送, 方針, 委託, 加工, 統計, 導入, 税率, 制度, 設計, 現金, 給付, 控除, 仕組み, 施設, 収税, 諮問, 再生, 基準, 主義, 委員会, 同盟, 国益)
学生4	89	42 (アジア太平洋経済協力会議, 医療保険, 液化天然ガス, LNG, ガス田, 規制, 協約, 景気, 契約, 金融緩和, 減災, 公約, 原油, 公務員, 財政, 財務省, 参議院, 自民党, 消費, 消費税, 所得, 震災, 税, 政権交代, 生産, 規模, 税制, 増収, 促進, 断熱材, 調達, 手数料, 難民, 燃料, 賠償, 発行, 復興, 保険料, 民主党, 民政移管, 無償化)	47 (両党, 政権, 対策, 参院選, 正副, 改革, 簡素, 控除, 総裁, 編成, 軽減, 税率, 税額, 原発, 再稼, 主義, 判断, 依存, 再生, 世論, 反発, 最善, 定数, 税収, 対象, 指摘, 協議, 割安, 地域, 手法, 現状, 改善, 関連, 価格交渉, 主体, 物産, 交渉, 指標, シェールガス, 方針, エキサス, BP, 急増, BTU, 占める, 方式, 統計)

学生 5	93	47 (賠償, アジア太平洋経済協力会議, 復興, 医療保険, 所得, 液化天然ガス, LNG, ガス田, 規制, 協約, 燃料, 急増, 景気, 契約, 金融緩和, 減災, 公約, 原油, 公務員, 財政, 財務省, 参議院, 無償化, 自民党, 消費, 消費税, 震災, 税, 政権交代, 生産, 規模, 税制, 増収, 促進, 断熱材, 判断, 調達, 手数料, 難民, 燃料, 発行, 保険料, 民主党, 民政移管, 標準, 代替, 手法)	46 (政権, BTU, 最善, エキサス, シェールガス, 参院選, 方式, 関連, 正副, 簡素, 控除, 総裁, 税額, 原発, 再稼, 主義, 判断, 再生, 世論, 反発, 定数, 税収, 対象, 指摘, 協議, 割安, 地域, 現状, 改善, 主体, 物産, 交渉, 指標, 方針, BP, 急増, 占める, 統計, 両党, 対策, 改革, 編成, 税率, 価格交渉, 依存, 軽減)
合計	288	141	147

### 3. 考察

アンケート調査から得られた「調べたが掲載されていなかった用語」のうち 70 語が 2 文字であり, その全てが熟語であった。その中でも, 原子力発電所を表す「原発」は 2 名が掲載されていなかったと回答したが, 本辞書には「原子力発電所」や「原発事故」などの用語は掲載されていた。それにもかかわらず「原発」という用語がわからなかった, もしくは発見できなかった学生が 5 名中 2 名いたということは, 辞書作成方針の策定において無視できない事柄であり, 今後は略語に関しても元の語とは別に説明・掲載する必要があると考えられる。

また, 「再生」が掲載されていなかった, と回答した学生が 3 名見られた。「再生」に関して, 「企業再生支援機構」や「再生可能エネルギー」などの掲載用語の中に含まれている用語ではあるものの, 「再生」単独では掲載されていなかった。この段階では辞書は政治経済分野に重きを置いて作成したため, 結果として難解な用語が多くなってしまい, 比較的平易な単語への対応が不十分なことが明らかになった。また, アンケートにより, 現状では辞書としては掲載単語数が少ないということがわかった。この結果を受け, 政治経済用語に加えて一般用語の項目を追加し, また学習者のニーズを考慮して, 日本文化に関する用語, 4 字熟語の項目を追加し, 辞書作成作業を継続している。

また, 今後の辞書作成作業の方針として, 単に用語の翻訳を掲載するのではなく, 重要な用語に関してはその用語に関連したコラムを掲載し, それにより立体的にその用語を理解できるようにすること, 単語の意味だけでなく例文を掲載することが必要であると考えられる。現在まで, それぞれの単語に対する逐語訳を掲載するにとどまっているが, 辞書利用者は, ある単語が実際にどのような場面で使われているかが理解できていない場合, 文章の意味を正しく理解すること, 正しく用いることが難しいことは容易に想像できる。今後この課題には, 例文を掲載することによって対応する予定である。

### 参考文献

カザフスタン共和国統計局 URL:<http://www.eng.stat.kz/Pages/default.aspx> アクセス日時

2012/12/01.

環境省 URL:

[http://www.env.go.jp/earth/coop/coop/c\\_report/kazakhstan\\_h17/japanese/pdf/006.pdf](http://www.env.go.jp/earth/coop/coop/c_report/kazakhstan_h17/japanese/pdf/006.pdf), アクセス日時 2012/12/01.

杉浦 千里 (2007) 『カザフスタンにおける日本語教育の現状と課題』 筑波大学留学生センター  
日本語教育論集 第 22 号.

Kazakh Academy of Education named after Altinsarin (2002) 『Министерство образования и науки Республики Казахстан : Государственный общеобязательный стандарт среднего общего образования Республики Казахстан』 .

嶺井明子・川野辺敏 (2012) 『中央アジアの教育とグローバリズム』 東信堂.

日経 HR (2011) 『日経キーワード重要 500』.

朝日新聞出版 (2012) 『朝日キーワード 2013』.

日経 4946.com, URL:

<http://www.nikkei4946.com/knowledgebank/index.aspx?Saishin=UM%2b0Y%2fGCkjb23aJtuDVzg%3d%3d#tabArea>.

Ожегов С.И (2009) 『Толковый словарь русского языка』 Москва.

weblio URL:<http://www.weblio.jp/>.

飯沼英三 (1995) 『カザフ語会話』 ベスト社.

飯沼英三 (1995) 『カザフ語辞典』 ベスト社.